

第 41 回鋼構造基礎講座

「H29 道示改定後の鋼道路橋の 設計に関する課題と取り組み」

令和 3 年 11 月 12 日

土木学会 鋼構造委員会

鋼構造継続教育推進小委員会

まえがき

土木学会 鋼構造委員会 鋼構造継続教育推進小委員会では、若手など初級・中級技術者や上級技術者でも専門分野外の基礎技術を習得するための継続教育(CPD)を目的として、これまで鋼橋の設計、施工、維持管理などに関するさまざまなテーマで基礎講座を毎年2回実施してきました。

今回、第41回鋼構造基礎講座として「H29 道示改定後の鋼道路橋の設計に関する課題と取り組み」をテーマに企画しました。平成29年に道路橋示方書が改定されてから4年が経過し、多くの設計事例が蓄積されてきました。一方で、新たに顕在化した課題に対する様々な取り組みが継続的に行われています。

そこで本講座では、関連技術基準の改定動向や試設計例をまじえた照査方法、構造詳細について分かりやすく解説し、設計品質の向上に向けた取り組みなどについても紹介します。

鋼構造の設計実務や管理をされる中で、「鋼道路橋の設計」についてこれから勉強したい方、理解を深めたい方、実務に関する課題で悩まれている方々にとって、手助けとなる有意義な講習会になることを切望しております。

令和3年 11 月

鋼構造継続教育推進小委員会

委員長 勝地 弘

目次

1. 道示改定後の鋼道路橋設計便覧改訂等の取り組み -----	1
澤田 守 ((国研)土木研究所構造物メンテナンス研究センター)	
2. 道示による設計成果の品質確保の取り組み -----	60
鈴木 泰之 ((株)建設技術研究所[(一社)建設コンサルタンツ協会 改定道路橋示方書連絡 WG 長])	
3. 道示による細幅箱桁橋の設計について -----	114
掘井 滋則 ((株)横河ブリッジ[(一社)日本橋梁建設協会 設計小委員会 設計東日本部会長])	